

だい き だい かい し がいこくじん し みん い いんかい
第5期 第2回さいたま市外国人市民委員会

にちじ ねん がつ にち か
日時：令和4年12月27日（火）

ごご じ ふん ごご じ ふん
午後6時30分～午後8時30分

ばしよ うらわ だい しゅうかいしつ
場所：浦和コミュニティセンター 第13集会室

し だい
次 第

1. かい かい
開 会

2. ぎ じ
議 事

(1) だい き し がいこくじん し みん い いんかいていげんないよう
第5期さいたま市外国人市民委員会提言内容について

(2) いけんこうかん
意見交換

3. れんらくじこう
連絡事項

4. へい かい
閉 会

だいごき だいいっかい しがいこくじんしみんいんかい いけん
 第5期 第1回さいたま市外国人市民委員会での意見

げんじてん で ぎろん
 現時点で出ている議論テーマ

みぢか きょうせいじょうほう ていきょうたいせいきょうか
 ・身近な行政情報の提供体制強化

せいかつ ひつよう にほんご がくしゅう かんきょう せいび
 ・生活に必要な日本語が学習できる環境の整備

1 にほんご べんきょう
 1 日本語の勉強について

ちいき にほんご きょうしつ いちばんやく た ほかにほん き がいこくじん
 ・地域の日本語ボランティア教室が一番役に立つし、他の日本に来たばかりの外国人にも
 ボランティア教室のことを教えている。

にほんご きょうしつ がくしゅうしゃ さんか かた ねんだい わか かた
 ・日本語教室に学習者として参加する方の年代によって、それが若い方だったらどうい
 うことに興味を持っているかをリサーチして、いろんな年代の方が集まれるように工夫をす
 ると良い。

2 せいかつ ひつよう じょうほう しゅうしゅうほうほう
 2 生活に必要な情報の収集方法について

し じぎょう じょうほう にゅうしゆ こま しやくしょ じゅうみんとうろく
 ・市の事業などの情報が入手できなくて困ったことがあった。市役所で住民登録をする
 際に、市がオリエンテーションをすれば、地域のことが分かってよいと思う。

がいこくじん てんにゆう つう たと じゅうみんひょう
 ・外国人が転入したときに、オリエンテーションや、IT のツールを通じて、例えば住民票
 がコンビニでとれるというようなことも伝えられる仕組みづくりができれば、時間の削減
 ができるのではないかな。

じょうほう しゅうち えき ひと あつ けいじ よ おも
 ・QR コードで情報を周知するとか、駅など人が集まるところに掲示してあると良いと思
 った。

せいかつ こま けん がいこくじん りよう がいこくじん む
 ・生活のことで困ったときには、県の外国人サポートセンターを利用している。外国人向け

この情報は、駅や大型の商業施設にあったら良い。また、自治会に依頼するのも良いと思う。

・イベントに参加してほしいという話を直接してもらったら、外国人は嬉しくて参加すると思う。そういう場に参加すれば、交流もできるし、情報をもらうこともできるのではないかな。

3 やさしい日本語について

・実は日本語が分からないけど、言えないという外国人はたくさんいるのではないかな。

行政がやさしい日本語で書いているものは、役に立っていると思う。

・フリガナを振って、短く書いてあるとやさしい日本語に見えるけれど、実はその内容が

熟語で、日本語が分からない人には全くやさしくなかったりする。小学校の低学年くらい

の子が理解できるレベルの文章にするとか、文章にできなければ絵をつけるとかの工夫

で、色々な人が助かると思う。

・まず日本語をある程度マスターしないとやさしい日本語の「やさしさ」を感じないと思う。

それだったらそもそも最初から絵にした方が良い。また、外国語の訳を最初に書いておい

て、最後に日本語の注釈をつけるなど、外国語の視点に立ってやさしい日本語を作る方

が良いと思った。

・やさしい日本語は、日本語の基礎がある人には分かりやすいと思う。本当に何も分から

ない人には正直なところ、あまり役に立たないかもしれないと思った。

・文字だけだったら日本語を理解するのは難しいので、表など文字じゃない方法でも書いてほしい。

4 防災について

・防災アプリについて、区役所でポスターを見て知ったが、みんなに伝えるのは難しいと感じる。市報に出ていれば見るかもしれない。

・例えばアプリをダウンロードするとヌウのスタンプが無料でもらえるなどのやり方も、今風で良いかもしれない。

・日本は災害大国でもある。そういう事実を市が発信して、外国人の災害に対する意識を高めてもらう必要がある。市がある程度の数の救命バッグを購入し、割引をして外国人に販売できれば良いのではないか。災害が起きた後に負傷者を救助するよりも、事前に自分で備えようという呼びかけが必要のように思う。

・私は防災関係の情報はインターネット上の外国人コミュニティから得ている。そこではテレビやスマホのニュースより情報が早い。日本人から情報を得るより、外国人同士の間で共有されることが多いのではないか。

・情報は市報だけではなく、日本語教室のホームページにも載せるとか、情報は1か所に集中して載せるより、分散して載せた方が情報を得られる人は多くなると思う。色々な情報が載っていれば、アクセスもよくなるようになり、その情報を外国人同士でシェアするようになるかもしれない。

・WEBのプロバイダに広告料金を払って、検索結果一覧の上の方に表示してもらうという方法もあるので検討してみると良い。

だい き 第5期さいたま市外国人市民委員会 委員名簿
 し がいこく じん しみん しいんかい
 いいん めいぼ

	氏名	フリガナ	備考
1	頼 沃徳楽	ライ ウダラ	だい き 第4期からの継続 けいぞく
2	王 蕾	オウ ライ	だい き 第4期からの継続 けいぞく
3	羅 昊	ラ コウ	だい き 第4期からの継続 けいぞく
4	西川 ナンシ	ニシカワ ナンシ	だい き 第4期からの継続 けいぞく
5	ノルル シャズミラ	ノルル シャズミラ	
6	金 京垠	キム キョンウン	
7	ディプティ アナンダ ム ルティ	ディプティ アナンダ ムルティ	
8	山下 美賢	ヤマシタ ミサト	
9	Yanagida Ann Lisa	ヤナギダ アン リサ	
10	Namba Marilyn Joy	ナンバ マリリン ジョ イ	

第 1 期～第 4 期さいたま市外国人市民委員会提言内容について

○第 1 期（2014～2015年）

「外国人も暮らしやすいコミュニケーション豊かなまちづくりに向けた提言」

1 働きやすさについて

- (1) 外国人を雇用する企業に、外国人の採用時、就労に必要なオリエンテーションや採用時の契約に係る説明をしっかりと行うよう、働きかけてください。

2 外国人家族に対する日本語と教育の支援について

- (1) 日本語の学習だけでなく、相互理解につながる日本語を学ぶ場の提供を、継続してください。
- (2) 子どもたちが、日本語だけでなく、学校の勉強も学べる場を充実してください。

3 住みやすさについて

- (1) 住民票等の公文書を外国語でも発行してください。
- (2) 自然災害や環境汚染など、健康や生活に影響のある情報を継続的に発信してください。

4 日本人と外国人の相互理解の促進について

- (1) さいたま市に住んでいる外国人の考えを、外国人により情報発信する機会と交流の場を検討してください。
- (2) 多機能な相談窓口を設置して、生活や学習などの社会資源を、分かりやすくまとめた情報を提供してください。

○第2期 (2016～2017年)

「2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けたさいたま市における多言語表記

および外国人観光客へのボランティアの関わり方について」

1 さいたま市における多言語表記について

- (1) 伝わりやすい多言語表記
- (2) 文化や習慣の違いを意識した多言語表記
- (3) 外国人観光客がさいたま市にまた来たくなるアイデア

2 外国人観光客へのボランティアの関わり方について

- (1) ボランティアへ期待すること、望むこと
- (2) ボランティアの育成及びサポート体制について
- (3) 外国人市民としてのボランティアなどへの関わり方について

○第3期 (2018～2019年)

「今後さらなる増加が予想される外国人市民にとって、住みやすい社会の実現と地域

社会との共生に向けて」

1 外国人市民が暮らしやすいまちづくり

- (1) 外国人市民に対する情報提供の充実
- (2) 日本語が不自由な外国人市民に対する支援
- (3) 外国人市民の地域コミュニティへの参画と共助
- (4) 外国人市民の防災意識の向上と災害時対応

2 人材を有効活用した国際交流が活発なまちづくり

- (1) イベント等での外国人市民の有効活用
- (2) 国際交流活動を行う外国人市民への支援

○第4期（2020～2021年）

「国籍の違いに関わらず、すべての市民が安心して、住み続けたいくなる魅力ある街づくり
に向けて」

- 1 外国人の子育て・子どもの学校生活において必要な支援について
 - (1) 子育て家庭への支援
 - (2) 日本語支援
 - (3) 学校からの情報提供の多言語化について
 - (4) サポート役のコーディネーターの配置
 - (5) PTAの参加への支援
 - (6) いじめ、差別への対応
- 2 外国人がさいたま市を訪れたいと思ってもらえるための観光の取り組み
 - (1) 文化体験の紹介・地域資源の活用
 - (2) ホームページ、SNSについて
 - (3) コンベンション、イベントについて

だい き
第 4 期

しがいこくじんしみんいんかい
さいたま市外国人市民委員会

ていげんしょ
提言書

こくせき ちが かが かしん あんしん す つづ みりよく まち
国籍の違いに関わらず、すべての市民が安心して、住み続けたい魅力ある街づくりに向けて

わたし だい き し がいこくじんしみんいんかい こんご ぞうか かんが
私たち、第4期さいたま市外国人市民委員会は、今後さらに増加すると考えられる外国人市民にとって「安心して住み続けたいと思えるまち」、「魅力あるまち」を目指すため、次のように提言します。

1 がいこくじん こそだ こ がっこうせいかつ ひつよう しえん
外国人の子育て・子どもの学校生活において必要な支援について

がいこくじんしみん し こそだ ほいくえん ようちえん がっこう
外国人市民がさいたま市で子育てするときや、保育園、幼稚園、子どもの学校生活にあたっては、次のような課題が挙げられます。

- こそだ がいこくじん こうりゅう ば ふそく
・子育てをしている外国人の交流の場の不足
- にほんご しえん
・日本語の支援
- がっこう はいふ しよるい たげんごか
・学校から配布される書類の多言語化
- がいこくじん こ かんきょうづく
・外国人の子どもをサポートしてくれる環境作り
- がいこくじんほごしゃ さんか
・外国人保護者のPTAへの参加
- いじめ さべつ たいおう など
・いじめ、差別への対応 など

かだい たい ひつよう しえん てきせつ じょうほうていきょう がいこくじんしみん
これらの課題に対して、必要な支援や、適切な情報提供をして、外国人市民が安心して暮らせるまちづくりを目指してください。

こそだ かにい しえん
(1) 子育て家庭への支援

がいこくじんかにい こそだ おな きょうぐう がいこくじん せつきよくてき
外国人家庭のための子育てサークルや、同じ境遇の外国人が積極的に
こうりゅう ば つく がいこくじん
交流できるオンライン、オフラインの場を作ってください。また、外国人と
にほんじん ほごしゃ こうりゅう ば おお つく
日本人の保護者が交流できる場を多く作ってください。

がいこくじん こそだ なか ひつよう じょうほう え
外国人が子育てをする中で、必要な情報がわかりやすく得られるように
がいこくじんむ いくじそうだんかい じっし
外国人向けの育児相談会なども実施してください。

(2) 日本語支援

がいこくじん こ ほうかご ほしゅうじゅぎょう おこな にほんご しえん おこな
外国人の子どもへ放課後に補習授業を行うなど、日本語の支援を行って
ください。また、がいこくじん ほごしゃ たい へいじつ やかん どにち じかん
外国人の保護者に対しても、平日の夜間、土日などの時間に
こうみんかん し しせつ かつよう にほんごきょうしつ かいこう ほか
公民館や市の施設を活用した日本語教室を開校してください。その他にもオ
ンラインでの日本語教室をレベル別に開催してください。
にほんご まな さい にほん せいかつ ひつよう しゅうかん にほんぶんか
日本語を学ぶ際に、日本での生活に必要なルールや習慣、日本文化につい
てもあわ まな せいかつ ふあんかいしょう
併せて学ぶことができれば、日本での生活における不安解消につながり
ます。

(3) 学校からの情報提供の多言語化について

がっこう はいふ しよるい たげんご ていきょう りそう ぼうだい
学校から配布される書類を多言語で提供してもらうのが理想ですが、膨大
ほんやくさぎょう ひつよう じょうほうていきょう
な翻訳作業が必要となるので、メールやホームページで情報提供してくだ
さい。ほんやく かつよう ひつよう げんご ほんやく
翻訳サイトやアプリを活用することで、必要な言語に翻訳することが
できます。

(4) サポート役のコーディネーターの配置

がいこくじん こ がっこうせいかつ にほん せいかつ な こま こと
外国人の子どもが学校生活や日本での生活に慣れるため、また、困った事を
そうだん
相談できるよう、カウンセラーや、サポート役の配置をしてください。各学校
はいち むずか しないかくしょ ちいきべつ はいち
に配置することは難しいかもしれませんが、市内各所への地域別の配置や、
がっこうほうもん でんわ たいおう しえん ねが
学校訪問、電話での対応などの支援をお願いします。

(5) PTAの参加への支援

日本語が理解できない外国人にとって、PTAの役割や活動内容を理解するのは、大変なので、外国人が参加しやすくなるようにマニュアルや、多言語での説明資料を作成してください。

(6) いじめ、差別への対応

異なる人種や価値観、習慣などを認め合えるよう、外国人講師による国際交流や国際理解の授業を行ってください。また、子どもが孤立しない工夫や、心が傷ついてしまった子へのケアを行ってください。

2 外国人がさいたま市を訪れたいと思ってもらえるための観光の取組み

外国人が「さいたま市に来たい、来てよかった」と思ってもらえるまちづくりを進め、活気にあふれるまちを目指すため、次のように提言します。

(1) 文化体験の紹介・地域資源の活用

外国の方が日本の文化を体験できる、紹介ウェブサイトやアプリを作成するとともに、パンフレットを作成し、観光案内所に配置してプロモーションしてください。

また、ヨーロッパ野菜を使った朝市その他、氷川参道や遊歩道、高架下などを利用したマーケットなどを、駅の近くで開催するとより多くの観光客が楽しめると思います。

(2) ホームページ、SNS について

- (i) さいたま観光国際協会が作成しているホームページについて、多言語での観光の情報発信をされており、内容も充実して良いと思いますが、施設やツアーの予約まで出来るとより良いサイトになると思います。
- (ii) SNS を用いた交流や、情報発信を多言語で積極的に行ってください。
- (iii) YouTube を活用し、さいたま市の観光地や、公園、お店などの動画を積極的に発信してください。

(3) コンベンション、イベントについて

さいたま市が持っている資源や立地を生かし、さいたまスーパーアリーナ、埼玉スタジアム2002などの施設と連携して、国際的なコンベンションやイベントの誘致・開催を行ってください。

コンベンションの際に、大宮の盆栽、岩槻の人形、浦和のうなぎ、漫画文化などを用いたイベントを行い、情報発信をすることで、さいたま市の魅力を多くの人に伝えることができます。